

わたしから始まる高知の食育

～毎月19日は「食育の日」～



酪農教育ファームで牛に触れて・感じて・学んで・元気！！

農林水産課では、例年市内の小学生を対象に、県内で唯一酪農教育ファームに認定されている円行寺の岡崎牧場で、農業体験学習の支援を行っています。

親牛への餌やりや子牛への哺乳、ブラッシングや心音聴診を通じて牛と触れ合い、食やいのちについて感じ、学んでもらうとともに、生乳からのバター作り体験によって牛乳や乳製品を身近に感じてもらう取り組みも行っていきます。

最初は牛の大きさに怖がる子どももいますが、触れ合ううちに牛が大好きになり、笑顔で体験を楽しんでいます。



おうちでもできる簡単バター作り



キレイに洗った500mlのペットボトルに、50mlの生クリームと60mlの牛乳を入れて上下にしっかり振り続けます。(←コレかなり重要です！)

振り続けると塊(バター)と液体に分離するので、ペットボトルの口から液体を取り除き、ハサミでペットボトルを切って取り出せば出来上がりです。

クラッカーにつけていただいでみてください。

高知の食に触れて・感じて・学んで・元気！！

酪農教育ファーム以外にも、地域の農家さんや漁師さん、学校等の協力により、農業体験や地元の食材を使った親子料理教室等で、子どもたちが高知の食に触れる機会が増えてきています。

稲刈り



どろめ料理教室



「鎌でバツと切った瞬間が楽しかった、食べるのが楽しみ。」
 「小さなどろめで色んな料理ができるのがすごい！」
 「梨の収穫に行くのをすごく楽しみにしていたよ。」
 「頑張って、やっと掘れたお芋を家族で食べるよ！」



梨収穫



芋掘り

こんな子どもたちの声が聞かれました。

植え付けから収穫までの一連を体験したり、食材を調理する事によって、各々が食を感じ、食の大切さを学び、その食材を食べて元気になる、こんな食育を農林水産課は応援していきたいと思います。